
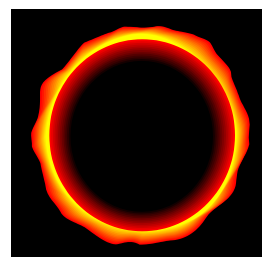


こんにちは、すすき歯科医院、院長の鈴木です。今年是世界天文年。ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け、宇宙への扉を開いてから400年目の節目の年です。宇宙飛行士の若田光一さんも国際宇宙ステーションに長期滞在して話題になりましたし、宇宙が注目される年ですね。そしてこの7月22日(ちなみに、この日は副院長と主任歯科衛生士市橋の誕生日)には46年ぶりの皆既日食が起こります。日本では全国で部分日食を観察することができ、奄美大島北部・トカラ列島・屋久島・種子島等の南の離島では皆既日食(太陽全面が月に隠される)を見ることができます。次の皆既日食は26年後。この非常に珍しい、太陽が月に隠されていく天体ショーを今回も26年後も楽しむためには、健康が一番です。歯を大切にして、健康で長生きしましょう。

すすき歯科医院からのお知らせ



夏休み中は混雑が予想されます。
ご予約はお早めに。



すすき歯科医院

住 所 伊勢崎市境下湊名1158
電 話 0270-70-6480
診療科目 一般歯科、小児歯科、歯列育成(矯正歯科)、審美歯科、
歯科口腔外科、インプラント、予防健診(ライフサポート)

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	○	○	○	休診	○	○
午後 14:00~17:30	○	○	○	休診	○	○ (~16:00)
休診日 : 日曜・祝日・木曜日						

虫歯だと宇宙飛行士になれない？

なにかと宇宙のことが話題になる今日この頃ですが、実は、歯が悪いままだと宇宙飛行士にはなれないってご存じでしたか？ 宇宙飛行士は目指していないから関係ないというアナタ、一般の人が宇宙旅行をするのも、きっとそう遠い話ではありませんよ。

★宇宙飛行士の条件

若田光一さんのような宇宙飛行士になるためには、体力・知力・実務経験・適応力・体格・その他いろいろな能力…etc が必要なのはもちろんですが、心身共に健康であることは絶対条件です。身体面・健康面でもいろいろな条件がありますが、実は虫歯があったら宇宙飛行士にはなれないのです。

★なぜ？

宇宙に歯科医院がないからです…。まあ確かにそれもそうなのですが、一番あてはまる理由は、気圧の変化です。宇宙船内や宇宙服の中は気圧が0.3気圧になるので、それに伴い空気の体積は3.33倍に膨張します。この気圧下で、虫歯治療が不完全で歯と詰め物（クラウンやインレー）の間に空洞があると、空気が膨張し、歯の神経を圧迫し激痛を起こすのです。このような訳で、宇宙飛行士は打ち上げ前に、はずれそうな詰め物はないか、宇宙で悪化しそうな歯がないか、歯科医師による詳細な検診を受けるのです。ただし、虫歯があってもしっかり治療してあれば問題はなく、詰め物があっても大丈夫、宇宙飛行士になることはできるそうです。

★気圧の変化と歯

気圧の問題では、ダイビングでも宇宙の場合と同じようなことが言えます。海に潜る場合も気圧の変化が激しいので、歯が痛くなることがあります。潜行していくにつれスクイズ（水圧上昇による空気の圧縮）が起こり痛みを感じ、また浮上中にはリバースブロック（水圧低下による空気の膨張）により痛みが起こる場合があります。冷たい海水による知覚過敏と診断される場合もありますが、多くは気圧の変化によるものです。きちんとした治療を受けていれば治療中であってもダイビングに差し支えありませんが、歯科医にはダイビングをしていることを伝え、海に潜る前には治療が完了していることが理想的です。宇宙同様、海の中にも歯科医院はありませんが、ダイビングは海面に出ると気圧が戻るので、宇宙ほどの緊急事態にはならないようですね。また、航空歯痛といって、飛行機に乗っても同じような症状が出る場合がありますが、飛行機の中はほぼ一定の気圧に保たれているので、過剰に心配する必要はないようです。

「大きくなったら宇宙飛行士になりたい」「ダイビングをしたい」という夢を持っているお子さんにも是非このことを教えて、小さい頃から定期的に歯科検診に通い、歯を大切に作る習慣を身につけたいものですね。



皆さんのライフサポーター すずき歯科医院

